

「宮崎市子どもの未来応援基金」について

1 設置の目的

全ての子どもが生まれ育った環境にかかわらず、自らの未来に希望を持ち、健やかに成長できるまちづくりを推進することを目的とする。

2 設置の背景

- 平成 29 年 7 ～ 10 月に実施した「子どもの生活実態状況調査」によると、本市に暮らすひとり親世帯の約 4 割が世帯年収 200 万円を下回る状況にあるなど、本市においても子どもを取り巻く貧困問題への対策は大きな課題となっている。
- 本市の子どもの貧困対策においては、全ての子どもが生まれ育った環境にかかわらず、自らの未来に希望を持って成長し、社会の一員として活躍できるよう、子育てや貧困の問題を社会全体の課題として捉え、様々な側面から総合的な支援(事業)に取り組むことを方針としている。
- そこで、新たな基金を設置することにより、本市として、子どもの未来を応援する事業に長期的に取り組んでいく姿勢を示すとともに、その安定財源を確保する。また、基金は、市民や企業からの寄附の受け皿にもなることから、「子育てや貧困の課題に社会全体で取り組む」という意識の醸成も図っていく。

3 基金の当初積立額

1,000 万円 (内訳) 一般財源 690 万円
市民からの寄附金 310 万円(2 件)※

※令和 2 年 7 月に、市民から「子どもの貧困対策や子育て支援施策の推進など、宮崎市の将来を担う子どもたちのために役立ててほしい」との趣旨で寄附をいただいた。

4 基金の使途

(1) 当面の活用

- 令和 3 年度の新規事業「子どもの貧困対策活動支援事業」(予算額 100 万円)の財源として活用する。
- 平成 30 年 12 月に内閣府が実施した調査によると、子どもの貧困支援に取り組む民間団体は、約 7 割が活動を継続するための資金不足を課題にあげている。そのため、このような団体の活動の安定化を図るため、活動費に対する助成を行う。
- 助成の内容や対象団体は、資料 9-②のとおり(助成団体の募集については終了)。

(2) 将来の展開

基金の目的や使途を積極的に PR し、寄附を広く募って基金の好循環を図りながら、その状況に応じて、「子どもの未来応援事業」の拡充のための財源として活用していく。

※同基金については、市ホームページや市広報みやざき 6 月号で広報を行っており、令和 3 年度になってから寄せられた寄附金は、7 月 1 日時点で 445 万円となっている。